

道路空間活用実験「ふらっと大門・丸之内」

検証結果報告【概要版・丸之内エリア編】

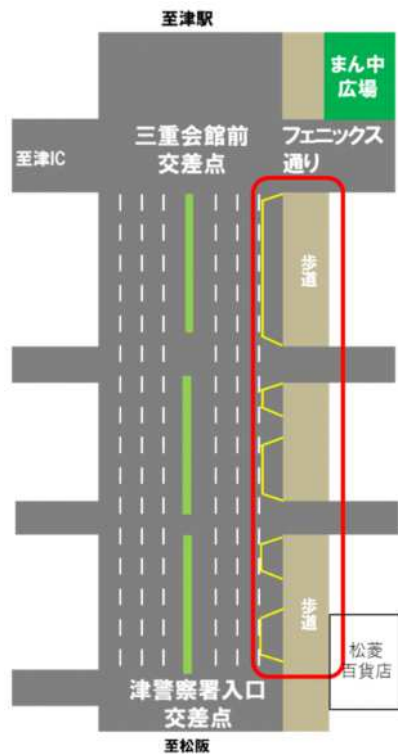
令和6年2月22日 エリアプラットフォーム「大門・丸之内 未来のまちづくり」

【目次】

- I. 実験実施の概要 1
- II. 各種調査結果 2
- III. 結果総括 9

I. 実験実施の概要

1. 実施日時 令和5年10月25日(水)～31日(火) 午前10時～午後3時(一部午前8時～)
2. 実施場所 国道23号丸之内商店街道路(東側)
3. 検証内容 (1) 恒常的な賑わい創出の可能性の検証
(2) 道路空間の新たな活用の可能性の検証
4. 実験目的



- (1) 恒常的な賑わい創出の可能性の検証
- イベント時等の一過性の賑わいは十分あるが、課題は、**平日の恒常的な人の流れの不足**
- 大門・丸之内地区の**勤務者**など、地区で活動する多くの人のまちなかへの**回遊・滞留を促す取組**を実験的に実施
- 地区で活動する多くの人による**恒常的な人の流れや賑わいの創出の可能性、事業ポテンシャルの有無**を検証
- (2) 道路空間の新たな活用の可能性を検証
- 滞留性の向上につながる新たな活用の可能性**を検証

5. 期間中の気象状況

日付	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日
曜日	水	木	金	土	日	月	火
天気	晴れ	晴れ	晴れ	くもり	晴れ	晴れ	晴れ
気温	20.7℃	22.7℃	19.9℃	19.7℃	19.7℃	21.4℃	19.3℃
風速	2.4m	3.6m	2.5m	5.6m	7.7m	3.0m	2.2m

※気象庁のデータによる。正午の状況。

期間中は、晴れまたはくもりで、過ごしやすい気温だった。
土日は風が強く、肌寒く感じられた。

6. 実施概要

仮想的に、

- 日常的な賑わい空間を創出
- 道路空間の新たな活用を実施

1週間連続して実施し、平日の状況を中心に検証

- (1) 車道を1車線規制
 - (2) 車道にキッチンカーを、歩道に出店ブースを設置
 - (3) 沿道店舗による店先空間の活用
 - (4) 歩道上にテーブル・イス等を設置、ポケットパークを活用するなど、滞留空間を創出
 - ・テーブル・イス・パラソル等は、木目を基調とし、高質な雰囲気 연출
 - ・ブース等を設置しつつも、広い歩行空間を確保
- 魅力的な商業施設を仮想的に創出

(5) 学生企画等のイベント

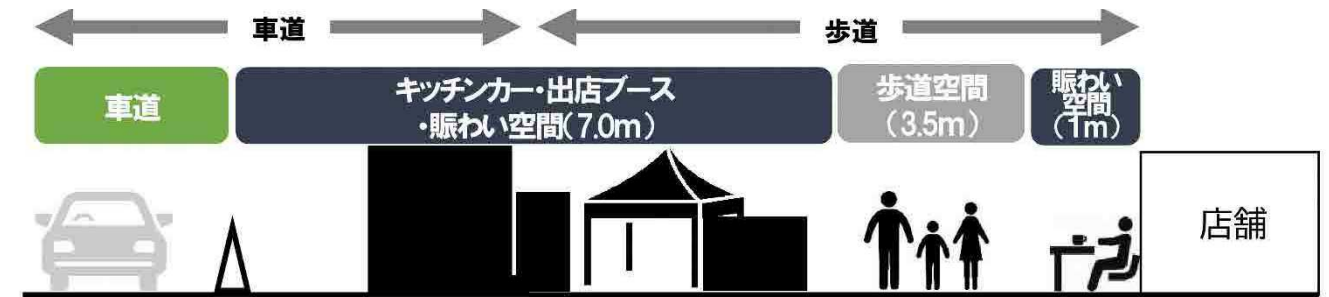
- ① 学生による企画「喫茶 居場所」(土・日曜日)
歩道+空き店舗を活用し、焙煎珈琲とお菓子とパンの販売
- ② 働くクルマの展示・乗車体験(於 津市まん中広場・日曜日)
- ③ 津レトロキーホルダーのプレゼント(土・日曜日)



未来ビジョンに描く道路のイメージを創出

7. 実験の状況

車道にキッチンカーを、歩道に出店ブース、テーブル・イス等の滞留空間等を設置



(1) 車道を1車線規制

10月24日～11月1日(9日間) 国道23号下り1車線を車線規制



(2) 車道にキッチンカーを、歩道に出店ブースを設置

- ・魅力的な店舗が並ぶ空間を仮想的に創出
- ・日常的に道路空間を活用する姿の演出

キッチンカー23店舗
出店ブース22店舗

計45店舗 延べ109店舗出店



▲キッチンカー



▲車道から歩道に向けて販売



▲出店ブース

(3) 沿道店舗による店先空間の活用

- ・沿道店舗が店先に販売ブース・ベンチ等を設置し、道路空間を活用



5店舗が実施

(4) 滞留空間の創出

- ・歩道上にテーブル・イス等を設置、ポケットパークに座りやすい仕掛けを設けるなど、日常的な滞留空間を創出
 - ✓ テーブル・イス・パラソル等は、木目を基調とし、高質な雰囲気演出
 - ✓ ブース等を設置しつつも、広い歩行空間を確保



▲広い歩行空間と滞留空間



▲道路上で飲食を楽しむ来場者



▲柱に設置したライトスタンド
(中部電力パワーグリッド株式会社提供)



▲ポケットパークでくつろぐ人々



▲津市まん中広場のテーブルも利用された

(5) 学生企画等のイベント

①学生による企画「喫茶 居場所」(土・日曜日)

- ・空き店舗(2店舗)と歩道上の出店ブースにおいて、学生企画による焙煎珈琲・お菓子・パンの販売



▲空き店舗を利用



▲空き店舗内でのライブ



▲学生が誘致した出店者

②働くクルマの展示・乗車体験(日曜日)

- (消防車、パトカー・白バイ、高所作業車)



③津レトロキーホルダーのプレゼント(土・日曜日)

- (LINE登録の促進: 目標600件のLINE登録を達成)



II. 各種調査結果

1. AIによる画像解析
2. ゲートカウント調査
3. スナップショット調査
4. 滞留長調査
5. 来場者へのアンケート調査
6. 来場者へのヒアリング調査
7. 出店者へのアンケート調査
8. 沿道店舗及び関係事業者へのアンケート・ヒアリング調査
9. 周辺企業へのアンケート調査
10. GPSデータ分析

1. AIによる画像解析(協力: 中部電力株式会社、中電クラビス株式会社)

(1) 調査概要

歩道の通行量の変化、来場者数等をAIによる画像分析により調査した。

(2) 調査目的

実験期間内外で歩行者(自転車、人等)量の変化を調査し、実験により歩行者量は変化するかを調査した。

(3) 調査項目

歩道の通行量の変化

(4) 調査日時

通常時: 10月20日(金) 21日(土) 8:00~15:00

実験時: 10月27日(金) 28日(土) 8:00~15:00

(5) 調査地点

調査地点は右図の通りとする。



(6) 調査結果

①北側：実験エリア北側カメラにおいて、北側（交差点）から実験エリアへの通行者数を計測

(ア) 金曜日（10月20日 [通常時] 及び 27日 [実験時]）の比較

	10月20日	10月27日	増加率
8時台	34	56	164.7%
9時台	59	141	239.0%
10時台	64	188	293.8%
11時台	79	369	467.1%
12時台	71	440	619.7%
13時台	48	179	372.9%
14時台	72	121	168.1%
計	427	1,494	349.9%



実験時と通常時を比較すると、通行者数は約3.5倍となった。特に、11時台・12時台の増加が顕著で、ピーク時は約6.2倍となり、昼食時の回遊性向上が見られた。

(イ) 土曜日（10月21日 [通常時] 及び 28日 [実験時]）の比較

	10月21日	10月28日	増加率
8時台	26	41	157.7%
9時台	30	93	310.0%
10時台	48	185	385.4%
11時台	56	516	921.4%
12時台	44	464	1054.5%
13時台	46	227	493.5%
14時台	56	165	294.6%
計	306	1,691	552.6%



実験時と通常時を比較すると、通行者数は約5.5倍となった。昼食時の増加が顕著だが、平日と比較すると、ほぼ全時間帯で増加率が高い。

②南側：実験エリア南側カメラにおいて、南側から北向きへの通行者数を計測

(ア) 金曜日（10月20日 [通常時] 及び 27日 [実験時]）の比較

	10月20日	10月27日	増加率
8時台	48	129	268.8%
9時台	27	116	429.6%
10時台	49	318	649.0%
11時台	62	181	291.9%
12時台	55	196	356.4%
13時台	30	71	236.7%
14時台	36	81	225.0%
計	307	1,092	355.7%



実験時と通常時を比較すると、通行者数は約3.5倍となった。特に、10時台に増加しており、近くにあるバス停や百貨店（松菱）との関連性が推測できる。

(イ) 土曜日（10月21日 [通常時] 及び 28日 [実験時]）の比較

	10月21日	10月28日	増加率
8時台	12	35	291.7%
9時台	12	63	525.0%
10時台	36	172	477.8%
11時台	34	313	920.6%
12時台	36	302	838.9%
13時台	44	167	379.5%
14時台	28	113	403.6%
計	202	1,165	576.7%



実験時と通常時を比較すると、通行者数は約5.7倍となった。昼食時の増加が顕著だが、平日と比較すると、ほぼ全時間帯で増加率が高い。また、平日同様、早い時間から増加率が高くなっている。

※10月28日（土）においては、セントヨゼフ女子学園による「ウォーカーソン」という募金活動が開催された影響があったと考えられる。

2. ゲートカウント調査

(1) 調査概要

現地の一定区間を通過した歩行者（自転車、人等）を数取り器で測定し、調査した。

各時間で5分間計測を行い、12倍して1時間あたり交通量を算出し、調査箇所1箇所において2方向から観測した。

(2) 調査目的

実験期間内外で、AIによる画像分析調査で測定できない箇所における歩行者（自転車、人等）量の変化を調査することを目的とする。

(3) 調査日時

①実験時：10月27日（金）28日（土）

②通常時：11月18日（土）20日（月）

③調査時間帯：9時台～14時台・・・計6回

(4) 調査地点

調査地点は右図の通り、3箇所（6方向）及び商店街（実験実施エリア）への出入



(5) 調査結果

①平日

(単位:人)

実験時: 10月27日(金)

	エリア内へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	84	96	72	252	96	72	144	312	120	180	300
10時台	60	72	12	144	48	108	72	228	192	132	324
11時台	96	252	24	372	108	144	180	432	372	204	576
12時台	144	252	132	528	60	108	132	300	480	216	696
13時台	24	48	108	180	24	120	132	276	216	84	300
14時台	12	72	36	120	24	132	48	204	96	120	216
計	420	792	384	1596	360	684	708	1752	1,476	936	2,412

通常時: 11月20日(月)

	エリア内へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	48	36	84	168	72	108	60	240	36	120	156
10時台	24	24	60	108	48	60	12	120	84	96	180
11時台	48	108	84	240	60	84	48	192	108	60	168
12時台	36	36	24	96	36	84	24	144	36	96	132
13時台	120	84	36	240	108	60	108	276	48	36	84
14時台	36	60	36	132	36	72	24	132	60	84	144
計	312	348	324	984	360	468	276	1,104	372	492	864

11:45 ~ 12:45	エリア内へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
	44	55	40	139	41	44	39	124	80	73	153

比較(実験時-通常時)

	エリア内へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	+36	+60	-12	+84	+24	-36	+84	+72	+84	+60	+144
10時台	+36	+48	-48	+36	+0	+48	+60	+108	+108	+36	+144
11時台	+48	+144	-60	+132	+48	+60	+132	+240	+264	+144	+408
12時台	+108	+216	+108	+432	+24	+24	+108	+156	+444	+120	+564
13時台	-96	-36	+72	-60	-84	+60	+24	+0	+168	+48	+216
14時台	-24	+12	+0	-12	-12	+60	+24	+72	+36	+36	+72
計	+108	+444	+60	+612	+0	+216	+432	+648	+1,104	+444	+1,548
	135%	228%	119%	162%	100%	146%	257%	159%	397%	190%	279%



実験時と通常時を比較すると、交差点の通行者数は約1.6倍、実験エリアである商店街道路への出入は約2.8倍となった。

特に、11時台・12時台の増加が顕著であり、11:45~12:45の1時間における商店街への出入は、通常時の約4.6倍となり、昼食時の回遊性向上が見られた。

②土曜日

実験時：10月28日(土)

	エリア外へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	24	12	36	72	24	36	60	120	84	48	132
10時台	72	72	120	264	48	132	108	288	84	216	300
11時台	48	132	120	300	192	120	48	360	108	192	300
12時台	72	108	168	348	108	96	180	384	324	228	552
1時台	12	252	24	288	24	144	12	180	264	144	408
2時台	12	120	216	348	192	228	96	516	156	288	444
計	240	696	576	1512	588	756	504	1848	1,020	1,116	2,136

通常時：11月18日(土)

	エリア外へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	60	24	12	96	24	12	60	96	108	48	156
10時台	48	36	36	120	12	24	0	36	72	12	84
11時台	0	84	12	96	36	24	0	60	12	0	12
12時台	12	72	12	96	12	48	0	60	72	36	108
1時台	36	12	12	60	12	12	12	36	36	24	60
2時台	12	24	0	36	24	36	24	84	12	60	72
計	168	252	84	504	120	156	96	372	312	180	492

(単位:人)

比較(実験時-通常時)

	エリア外へ				エリア内へ				商店街出入		
	①西進	②北進	③東進	計	④東進	⑤南進	⑥西進	計	out	in	計
9時台	-36	-12	+24	-24	+0	+24	+0	+24	-24	+0	-24
10時台	+24	+36	-24	+36	+36	+108	+108	+252	+12	+204	+216
11時台	+48	+48	+108	+204	+156	+96	+48	+300	+96	+192	+288
12時台	+60	+36	+156	+252	+96	+48	+180	+324	+252	+192	+444
1時台	-24	+240	+12	+228	+12	+132	+0	+144	+228	+120	+348
2時台	+0	+96	+216	+312	+168	+192	+72	+432	+144	+228	+372
計	+72	+444	+492	+1,008	+468	+600	+408	+1,476	+708	+936	+1,644
	143%	276%	688%	300%	490%	485%	525%	497%	327%	620%	434%



実験時と通常時を比較すると、交差点の通行者数は、エリア内へが約5倍、実験エリアである商店街道路への出入は約4.3倍となった。
平日と比較すると、昼食時だけでなく、全時間帯で増加した。

3. スナップショット調査

(1) 調査概要

利用者がどのような滞留行動を行っているか目視(外観)により調査した。

(2) 調査目的

年代、性別、仕事有無か、滞在行动、滞在場所等の滞留者の行動パターンを把握すること。

(3) 調査日時

- ①実験時：10月26日(木) 29日(日)
- ②通常時：11月18日(土) 20日(月)
- ③調査時間帯：8時台~14時台

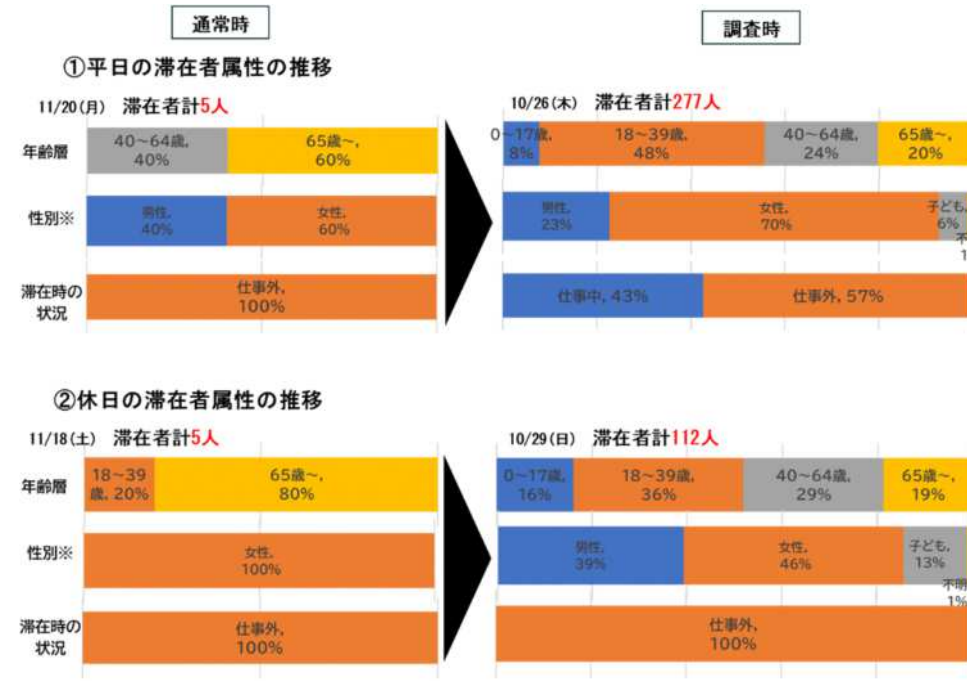
上記時間帯のうち、毎時1回(およそ10分間)の計7回

(4) 調査地点

調査区間は右図の通り3区間



(5) 調査結果：A、B、Cの各区間において調査時間(計70分間)に滞在した人の総数より算出



- ・調査時間(計70分間)に滞在した人の総数は、通常時が計5人、実験時が計277人
- ・実験時は、18~64歳が72%を占め、通常時と比較して就労世代が多く来場したことがうかがえる
- ・実験時は、女性の滞在者が70%と多かった
- ・通常時は仕事中の滞在者は見られなかったが、実験時は仕事中の滞在者が43%であった
- ・調査時間(計70分間)に滞在した人は、通常時が計5人、実験時が計112人
- ・実験時は、多様な世代が来場し、子どもの滞在も13%であった
- ・休日は通常時と実験時共に、仕事中の滞在は見られなかった
- ※「子ども」は幼児や小学生など明確に判断できたもの

③ 滞在者行動の分析

(ア) 10/26(木)-実験時平日

- ・最も多い滞在行动は「行列に並んでいる」で113人、次いで「飲食している」が59人であった。また、「談笑している」が18人であった
- 天候が良かったこと、さらに飲食物の販売店舗数が多かったことから、飲食物の購入に並ぶ人や、滞留する人が多かったという結果が考察できる
- ・滞在场所については、「キッチンカー付近」が38%と最も多く、次いで「テーブル・イス」が22%、「出店ブース」が21%であった。また、「ポケットパーク」を利用する滞在者が10%であった。テーブル・イスやポケットパークについては、昼食時間帯は満席状態だった
- その時点で調査区間にいた人のうち約3割以上の方が腰を据えており、多くの方が滞留していたことが考察できる

(イ) 10/29(日)-実験時休日

- ・滞在行动において、「何か来るのを待っている(人・飲食物等)」及び「行列に並んでいる」、「談笑している」が25人前後であった。また、その場で「飲食している」人が9人と少数であった
- ゆっくり滞在しようという人より、何か購入し、その購入物を待つといった滞在行动が多いことが読み取れる
- ・滞在场所については、「出店ブース付近」が45%と約半数を占め、「その他歩道上」が34%と次に多い滞在场所であった。また、滞留可能な場所である「テーブル・イス」及び「ポケットパーク」はそれぞれ10%、2%であった
- この日は風速7.7mで、丸之内エリアの実験期間で最も強風の日であった。その結果、滞留場所である「テーブル・イス」や「ポケットパーク」の利用が少なかったことが推測できる

④ 年代別・滞在場所の推移

(ア) 10/26(木)-実験時平日

- ・購入場所付近(キッチンカー付近及び出店ブース付近)に並ぶ人が18歳以上の各年代で半数以上だった
- ・滞留場所(テーブル・イス付近及びポケットパーク、ガイトウスタンド)は年代関係なく利用された
- ・0~17歳は「テーブル・イス」で滞在する人が半数以上を占めた

(イ) 10/29(日)-実験時休日

・「その他、歩道上」が全世代で4分の1以上(25%以上)を占めている

→学生企画イベントが、空き店舗及び歩道上で開催されていたこともあり、「その他、歩道上」で滞在する人が多かったと推測できる

4. 滞留長調査

(1) 調査概要

津警察署入口交差点(津松菱前)の信号が赤から青に変わった瞬間の、停止線から最後尾車両の末尾までの距離を計測した(最も滞留時間が長い車線の滞留長を計測)。10m単位(端数切り上げ)で行った。

バス停留所付近における発着時等に他の一般車に影響を及ぼす場面があれば記録することとした。

(2) 調査目的

車線減少による滞留長の変化を調査することにより、車線減少の影響を把握すること。

(3) 調査日時

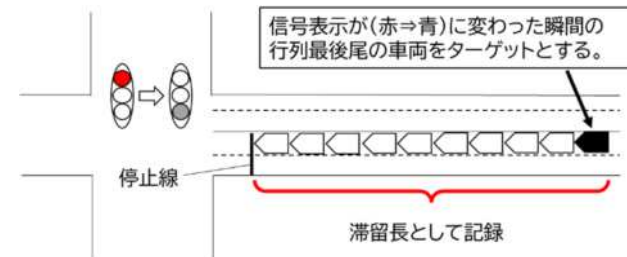
①実験時：10月26日(木) 通常時：11月20日(月)

②調査時間帯：7:30~8:30、17:30~18:30(朝・夕の自動車交通量がピークとなる時間帯)

(4) 調査地点

津警察署入口交差点(津松菱前)

下り車線の車両を調査



(5) 調査結果

7:30	通常時	□□□	30m
	実験時	□□□□□	50m
7:40	通常時	□□	20m
	実験時	□□□□	40m
7:50	通常時	□□□	30m
	実験時	□	10m
8:00	通常時	□□□□	40m
	実験時	□□□□□	50m
8:10	通常時	□	10m
	実験時	□	10m
8:20	通常時	□	10m
	実験時	□	10m
8:30	通常時	□□	20m
	実験時	□□□□□	50m

17:30	通常時	□□□□	
	実験時	□□□□□□□□	
17:40	通常時	□□□	
	実験時	□□□□	
17:50	通常時	□□□	
	実験時	□□□	
18:00	通常時	□□	
	実験時	□□□	
18:10	通常時	□□	
	実験時	□□	
18:20	通常時	□□□	
	実験時	□	
18:30	通常時	□□□	
	実験時	□□□□□	

平均	通常時	□□□	26m
	実験時	□□□□□	34m

□=10m

通常時と比較すると、実験時には平均8m滞留長が伸びたが、これは車2台程度であり、微小である。その他、調査時の観測において、車線規制による問題は見られなかった。

5. 来場者へのアンケート調査

(1) 調査概要

現地の来場者へアンケートをお願いし、利用に関する意見収集を行った。

(2) 調査目的

恒常的なにぎわい創出や道路空間の新たな活用方法について来場者の意見を収集するため。

(3) 調査日時

実験実施期間中

(4) 調査方法

調査員が随時、巡回及び声掛けを行い、紙面もしくはウェブ上で回答を受けた。

本部ブース、各キッチンカー、各出店ブースにもアンケート用紙及びウェブのリンク先を設置し、回答を受けた。

(5) 分析内容

来場者の属性を分析し、今回設置した各コンテンツや空間についての意見を収集した。

また、国道23号の車道1車線を規制して、賑わい空間を拡張した新しい道路空間への意見を収集し、道路空間の新たな活用や恒常的な賑わい創出に活かす情報としてまとめた。

(6) 調査結果

①平日・土日を通じた全体的な傾向(N=211)

- ・来場者は大門・丸之内地区に勤務している方が43%
- ・交通手段は、徒歩・自転車が63%と、近隣から多くの方が来場
- ・実験を目的に来場した方が約6割
- ・滞在時間は1時間未満が90%以上

②平日の傾向(N=188)

- ・平日の来場者は、大門・丸之内地区に勤務している方が約半数
- ・交通手段は、徒歩・自転車が65%と、近隣から多くの方が来場
- ・実験を目的に来場した方が約6割
- ・滞在時間は1時間未満が9割以上
- ・チラシや勤務先での情報など、地区内への周知が効果的であった

③休日の傾向(N=23)

- ・休日の来場者は、大門・丸之内地区以外に勤務している方が約8割
- ・交通手段は、自家用車が約6割
- ・滞在時間は1時間未満が9割以上と平日と差はない
- ・周知については、平日と比較すると、出店者のInstagramの情報の効果が高い

④道路空間の活用について(以降N=211)

- ・今回の空間づくりについて、8割以上の方が良かったと回答
- ・今回のような取組の継続について、9割以上の方が賛成と回答
- ・賑わい空間としての道路空間の活用について、9割以上の方が賛成と回答
- ・また、交通上の問題についても、9割の方が問題ないと回答

⑤国道23号東側1車線の活用意向

- ・車道については、キッチンカー等が配置できる空間との回答が最も多く、次いで駐車スペースを求める回答が多かった
- ・歩道については、実験時のようなキッチンカー等が並びゆっくりできる空間や、多くの店舗が並ぶ空間を求める声が多数

⑥未来ビジョンの将来像への感想

- ・将来像については、9割以上の方が良いと回答

6. 来場者へのヒアリング調査

(1) 調査概要

現地で居住地・勤務地に関して聞き取り調査を行った。

(2) 調査目的

周辺からの来場者かどうかを調査し、恒常的なにぎわい創出の可能性を検証するため。

(3) 調査項目

①居住地

②勤務地

(4) 調査日時

実験実施期間中

(5) 調査方法

本部ブースに回答ボードを設置し、居住地・勤務地について該当する箇所にシールを貼付いただいた。

(6) 調査結果

来場者に対し、居住地・勤務先を直接尋ねた。

	平日		土日	
	エリア内	エリア外	エリア内	エリア外
居住地	26 (10%)	231 (90%)	7 (13%)	46 (87%)
勤務地	108 (53%)	97 (47%)	13 (28%)	33 (72%)

- ・居住地は、平日・土日共に、約10%がエリア内からであった。
- ・勤務地は、平日はエリア内からが53%と、周辺に勤務する方が多く来場した。

7. 出店者へのアンケート調査

(1) 調査概要

各出店者の売上、購入者数等の把握及び、今回の実験ならびに今後の実験実施エリアの利活用に関する意見収集を行った。

(2) 調査目的

各出店者から意見収集し、今回の空間活用の感想や、大門・丸之内地区に出店する魅力はあるのか等を把握し、将来的な道路利用や空き店舗の在り方の検討に活かすことを目的とする。

(3) 調査項目

①売上、購入者数

②購入者属性

③アンケート

(4) 調査日時

①・②実験実施期間中

③最終出店日

(5) 調査方法

- ①・②実験期間中毎日、各出店者の撤退前に紙面にて回答を受けた。
- ③各出店者の出店最終日に回答を依頼、ウェブ上で回答を受けた。

(6) 調査結果

①売上、購入者数

日別データ

	10月25日	10月26日	10月27日	10月28日	10月29日	10月30日	10月31日	期間計 (気温・風速は 昼間平均)	平日・土日別平均			
	水	木	金	土	日	月	火		平日平均	土日平均	期間計 (気温・風速は 昼間平均)	
天気	晴れ	晴れ	晴れ	<曇り	晴れ	晴れ	晴れ					
気温	20.7℃	22.7℃	19.9℃	19.7℃	19.7℃	21.4℃	19.3℃	20.5℃	気温	20.8℃	19.7℃	20.5℃
風速	2.4 m	3.6 m	2.5 m	5.6 m	7.7 m	3.0 m	2.2 m	3.9 m	風速	2.7 m	6.7 m	3.9 m
通行者数			1,494人	1,691人				10,852人	通行者数	1,494人	1,691人	10,852人
購入者数	1,187人	993人	876人	821人	214人	512人	628人	5,231人	購入者数	839人	518人	5,231人
購入率			58.6%	48.6%				48.2%	購入率	58.6%	48.6%	48.2%
出店店舗	23	19	18	16	8	11	14	109	出店店舗	17	12	109
売上額	1,043,460円	1,005,780円	962,832円	572,720円	145,730円	361,470円	488,900円	4,580,892円	売上額	772,488円	359,225円	4,580,892円
客単価	879円	1,013円	1,099円	698円	681円	706円	779円	876円	客単価	921円	694円	876円

※天気・気温・風速は、気象庁のデータによる。正午の状況。
※通行者数は、調査日の数字が揃ったものとして算出

※通行者数は、調査日の数字が揃ったものとして算出
※購入率は、平日は10/27、土日は10/28の実績を記載

- ・平日は1日当たり平均839人の利用（購入・サービス享受）があった
- ・1週間で計5,231人の利用があった
- ・通行者数から推定する購入率は約5割と、比較的高い割合で購入された

②購入者属性

- ・平日・土日ともに、女性の割合が高かった
- ・平日は20代～50代の利用者が多く、土日は10代以下・60代以上の利用者の割合が増えた

③アンケート (N=45)

(ア) 道路空間の活用について/今回のような取組について

- ・今回の空間づくりについて、9割以上の出店者が良かったと回答
- ・車道については、キッチンカー等が配置できる空間や駐車スペースを求める回答が多かった
- ・歩道については、実験時のようなキッチンカーが並びゆっくりできる空間を求める声が多く、雰囲気の変化を求める声も多かった
- ・今回のような取組について、9割以上の出店者が賛成と回答
- ・賑わい空間としての道路空間の活用について、9割以上の出店者が賛成と回答
- ・また、交通上の問題についても、約9割の出店者が問題ないと回答

(イ) 未来ビジョンの将来像への感想

- ・将来像については、約9割の出店者が良いと回答

(ウ) 大門・丸之内地区での商売について

- ・約8割の出店者が、大門・丸之内地区に商売面の魅力を感じている
- ・企業の勤務者をターゲットにできることや幹線道路であることに期待する声が多い
- ・車道や歩道への出店については、9割以上が希望
- ・出店料は、5%～10%が妥当と回答
- ・実店舗を出店したいと思う出店者は約半数
- ・手頃な賃料の物件や空き店舗のリノベーションへの補助など、金銭面の敷居を下げるのが求められる声が多い

8. 沿道店舗及び関係事業者へのアンケート・ヒアリング調査

(1) 調査概要

道路空間の将来的な利用に関する意見収集を行った。

- ①沿道店舗へのアンケート
- ②交通事業者へのヒアリング
- ③配送業者へのアンケート

(2) 調査目的

車道の通行への影響や、車道及び歩道の活用に関するニーズの評価を行い、道路空間の新たな活用の可能性を検証するため。

(3) 調査日時

実験実施後

(4) 調査方法

実験実施後、沿道店舗及び関係事業者を訪問等し、アンケートまたは聞き取り調査を実施。

(5) 調査結果

①沿道店舗へのアンケート (N=38)

- ・実験中、来客数が増えた店舗が2割ある一方で、減った店舗もあった
- ・売上・営業成績は、増えた店舗と減った店舗が同割合
- ・車線規制についてよかったとの回答が約半数、今回の取組についてはよかったとの回答が約8割
- ・車道や歩道は、実験時のような空間活用を求める声が多く、駐車スペースを求める声も多かった

②交通事業者へのヒアリング

バス事業者へのヒアリングを行ったところ、

- ・運行上の問題はなく、運転手からも運行しづらかったとの声はない
- ・乗客から、乗車しづらかった、分かりづらかった等の意見は届いていない

と回答があり、特に影響がなかったと言える。

なお、現場で行った滞留長調査の際、バスの到着・発車の様子を確認したところ、スムーズな運行がなされており、運転手・乗客が不便に感じた様子はなかった。

③配送業者へのアンケート (N=7)

- ・配送業者の配送頻度は週4回、1日2回が最も多い
- ・荷さばきスペースの設置を求める声が多い

9. 周辺企業へのアンケート調査

(1) 調査概要

実験実施前に案内チラシを配布した実験実施エリアの周辺企業へお礼を兼ねた従業員対象のアンケート調査を実施した。(丸之内エリア・大門エリアの実験を合わせて回答を得た。)

(2) 調査目的

実験実施エリアの周辺企業の方がどれだけ参加したか把握するため。また、恒常的にぎわい創出や将来的な道路空間のあり方について来場者の意見を収集するため。

(3) 調査日時

実験実施後

(4) 調査方法

実験実施後周辺企業を訪問し、従業員に対してウェブ上でアンケートへの回答を依頼。

(5) 調査結果

①何で知ったかについて (以降 N=189)

- ・職場・学校での情報が半数以上を占め、次いでチラシ・ポスターが多く、クチコミや紙媒体での認知割合が高かった

②実験時の行動について

- ・周辺企業の従業員は、丸之内エリアに行った割合が高かった

③今回の実験の取組について

- ・取組の継続について、9割の方が賛成と回答
- ・実験中の道路空間の活用方法について、特ににぎわい空間・居心地のよい空間としての評価が高かった

④道路空間の活用について

- ・国道23号の車線減少については、8割の方が交通上の問題がないと回答
- ・車道については、キッチンカー等が配置できる空間との回答が最も多く、次いで駐車スペースとの回答が多かった
- ・歩道については、実験時のようなキッチンカー等が並びゆっくりできる空間や、多くの店舗が並ぶ空間を求める声が多かった

⑤未来ビジョンの将来像への感想 (丸之内)

- ・将来像については、約9割の方が良いと回答

10. GPSデータ分析 (KDDI Location Analyzer を用いて、UR都市機構が作成)

(1) 調査概要

auスマートフォンユーザーのうち、許諾者(全国:約300万人)からGPS情報を取得。ユーザー(許諾者)数を統計情報(国勢調査)の人口数と居住地ごとに比較し、全人口の場合の通行数等を推計(10代以下及び外国籍のデータは分析対象外)。

実験実施期間と通常時(実験実施1年前の同期間)とで比較検討を行った。

比較は、原則として午前10時から午後3時とした。

(2) 調査項目

①来訪者属性分析

指定した区域内に15分以上滞在した人数と属性

②主要動線分析

指定した道路区間における自動車と徒歩の通行量

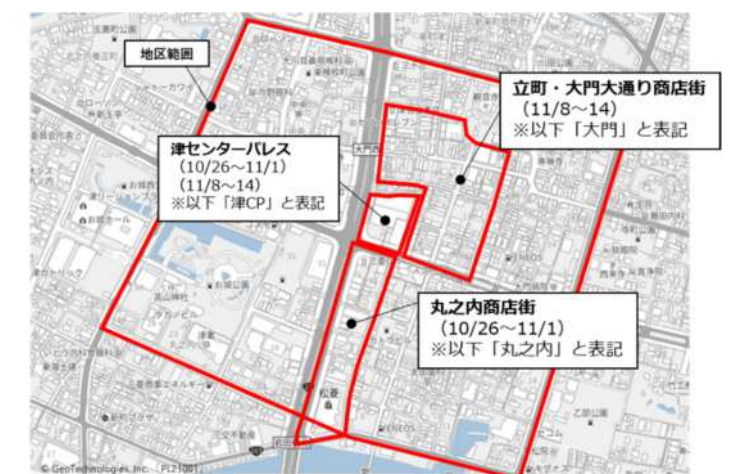
③拠点間分析

指定した区域を訪れた(15分以上滞在)人数

(3) 定義

- ①居住者・・・居住地が地区範囲内
- ②勤務者・・・勤務地が地区範囲内
- ③来街者・・・居住地も勤務地も地区範囲外
※地区範囲は、大門・丸之内地区内

分析エリア・地区範囲



※対象データが全人口の3%程度であることから、推計値の振れ幅が大きい可能性がある。

(4) 分析結果

① 来訪者属性分析

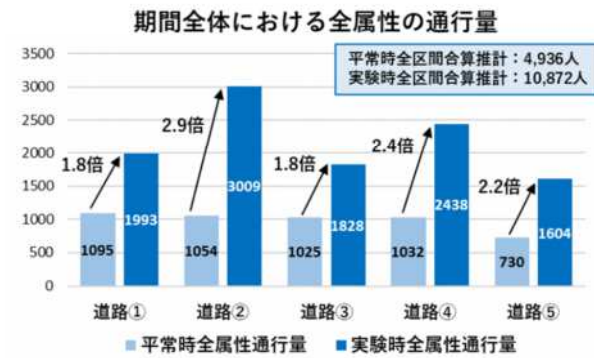
- ・丸之内商店街エリアの滞留者数について、期間全体では11.7%増加し、平日に限ると7.5%増加した
- ・時間帯別にみると、平日のほぼ全時間帯で滞在者数は増加した



② 主要動線分析

- ・丸之内商店街の歩行者通行量 (期間全体) について、各区間で1.8~2.9倍増加した

対象道路区間 国道23号
 (「三重会館前」交差点～
 「津警察署入口」交差点)



- ・国道23号 (下り車線) の自動車通行量 (期間全体) について、各区間で平均4.0%減少した

対象道路区間 国道23号
 (「三重会館前」交差点～
 「津警察署入口」交差点)

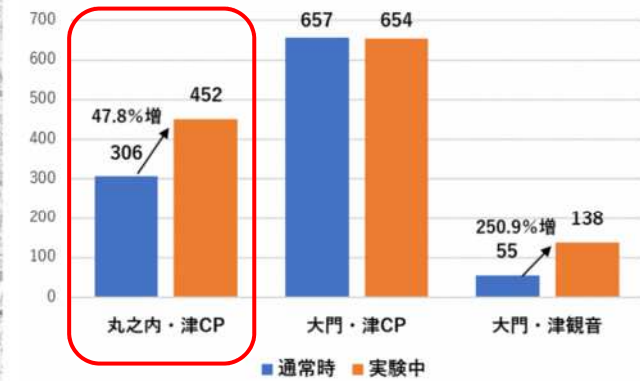


1日あたり平均自動車通行量 (丸之内実験期間)



③ 拠点間分析

- ・同日併用者 (指定した2地点を同日に両方訪れた人) をグラフ化
 → 指定した施設・エリア間の回遊性を確認
- ・丸之内と津CPの同日併用者は、実験中に47.8%増加した



※津CP・大門・津観音の3地点同日併用者も確認したが、推計値は0であった

Ⅲ. 結果総括

1. 恒常的な賑わい創出の可能性の検証

- 今回の取組において、歩行者通行量解析によって、通常時と比較して**平日平均 3.5 倍、平日ピーク時 6.2 倍**の通行量増加が判明した。また、実験中の**ほぼ全時間帯で平日滞留者が増加**した。
- 実験中の平日来場者は、**エリア内の勤務者が約半数**を占め、周辺企業等への周知により周辺企業従業員の来場を促すことが可能であることが分かった。
- 実験中の平日滞在者は、18～39 歳が最多、次いで 40～64 歳となり、就業世代の割合が高かった。
- これらのことから、こうした取組を実施することが**恒常的な賑わい創出には効果的**と分かった。
- 来場者アンケートの結果によると、実験中の道路空間について、「**賑わいのある空間等として**」「**取組の継続について**」**9 割以上の回答者が賛同**している。
- 出店者アンケートの結果によると、
 - ✓ 平日は1日当たり平均 839 人の利用（購入・サービス享受）があった。
 - ✓ 1週間で計 5,231 人の利用があった。
 - ✓ 通行者数から推定する**購入率は約 5 割**と、比較的高い割合で購入された。
 - ✓ **約 8 割の出店者が大門・丸之内地区に商売面の魅力を感じており、実店舗の出店にも約半数が興味を示している。**
 - ✓ 約 9 割の**出店者が、車道や歩道への出店意思がある。**
 - ✓ 実験期間中は比較的天候に恵まれたが、開催曜日、出店者数と購入者数、売上額及び客単価については相関関係がみられる。
- 沿道店舗アンケートによると、
 - ✓ 実験中における**来客数は約 2 割が増加したが、減った店舗もあった。**
 - ✓ 実験中における**売上・営業成績は、増えた店舗と減った店舗がほぼ同割合**だった。
 - ✓ 丸之内エリアでは、**沿道店舗による店先活用が少なく様子見の店舗が多かった。**なお、大門エリアでは、店先活用に積極的な店舗の売上が増えていた。

2. 道路空間の新たな活用の可能性の検証

- 国道 23 号の 1 車線を利用したことについて、
 - ✓ 滞留長調査の結果から、**渋滞の発生は見られなかった。**
 - ✓ 来場者アンケート、出店者アンケートにおいて、**9 割以上が交通上の問題はなかった**と回答された。
 - ✓ バス運行事業者からは、**運行上の問題はなかった**と回答された。
- 国道 23 号東側 1 車線車道について、来場者からは**キッチンカー等が配置できる空間**との回答が最も多く、次いで**沿道店舗向けの駐車スペース**との回答が多い。また、配送業者からは、**荷捌きスペース**を求める声が多い。
- 歩道について、来場者からは、実験中のような**店舗・テーブル・イス等が並びゆっくりできる空間**を求める声が多い。
- 各アンケートにおいて、**賑わい空間としての道路活用に好意的な結果**だった。
- **テーブル・イス**や**ポケットパーク**の利用率が高く、**滞留空間の活用が活発**だった。通常置いていないテーブルやイスを設置することで、幅広い年代が滞留する可能性が判明した。
- 今回設置した施設では、キッチンカーの評価が特に高く、魅力的な店舗・商品が求められている。
- 「未来ビジョンの将来像への感想」については**9 割以上の方が良い**と回答している。
- 上記の結果を踏まえると、**国道の 1 車線や歩道について、引き続き活用の方向性を協議する必要がある。**